

コトバカっ!



コトバカ
言葉家……言葉を操る専門家。言葉にバカに詳しい人。言葉にバカみたいにこだわる人。

コトのほかバカ。コトによるとバカ。コピーライターの俗称。

上から読んでも相川藍、下から読んでも相川藍。コトバカの相川藍が言葉についてコトバカるっ!

私はペンを持っている!

「肌身はなさず持ち歩いている仕事上の必需品は何か?」という話になり、私は「筆記用具と電子辞書」と答えた。

現実には、筆記用具はしばしば行方不明になり、メモがとれずに焦る。誰かに貸してもらえばいいのだけど、書くことが仕事なのに書くものがないなんて、情けなくて泣きたくなる。できれば誰にも知られたくない。そんなとき頼りになるのが化粧ポーチで、今のところ筆記用具として最も使えるのは眉ペンシルだ。アイライン用のペンシルは柔らかくかすぎても濃厚なので不向きだが、唇の輪郭を描くためのリップペンシルを赤ペンとして使ったことはある。口紅はさすがに驚かれそうだが、スリムな鉛筆型なら気づかれる心配もないし。ってまあ気づかれないと思うけど。

逆に化粧ポーチを忘れたときはどうするか。三色ボールペンがあれば眉も目もリップメイクもばっちり!ということには、もちろんならない。つまり、筆記用具と化粧用具のどっちが偉いかというと、いざというときに兼用できる化粧用具のほうが偉いのである。

というのが今回のどーでもい結論だが、マルチに使えるという意味ではもうひとつの必需品、電子辞書にかなうものはない。なにしろ膨大な数の辞書や事典が内蔵されているんだから。実際のところ、ふだん使う辞書以外は滅多に見ないけど、先日点検してみても驚いた。なんと私の電子辞書には日本の名作文学300作品、世界の名作文学100作品が収録されていて、『源氏物語』も『神曲』も『モルグ街の殺人事件』も『走れメロス』も『ミゼラブル』も読めちゃうことがわかったのだ。今年は電子書籍元年といわれ、7月には楽天から電子書籍リーダー「KOBOTOUCH」(「ポタッチ」)が発売された。とても気になっているものの、購入を検討するのは、とりあえず電子辞書に入っている名作を読んでからだわ。

ちなみにKOBOTOUCHは、BOOKを並べ替えた言葉だつて。なんだか可愛い。でもついで、公募と読みたくなるのは私だけじゃないはず!

相川藍 (言葉家)

丸の内文学賞(大賞)・朝日広告賞(最高賞)・インターネット書評コンテスト(最優秀賞)受賞。早稲田大学第一文学部卒。コピーライター。